



# ねりまの文化財

## 令和4年度新規の登録文化財

2月21日、練馬区文化財保護条例に基づき、「豊島家文書」「東本村の庚申塔」の2件を登録文化財としました。

指定・登録文化財は、学識経験者で構成される区の文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て教育委員会において決定します。

これにより区登録文化財は、有形文化財124件、無形文化財1件、有形民俗文化財47件、無形民俗文化財22件、史跡13件、名勝1件、天然記念物11件の合計219件となりました。このうち、特に重要であると認められる区指定文化財は49件です。

文化財は、長い歴史を通じて先人たちが築き、守り伝えてきたかけがえのない遺産です。区では、これからも地域文化の創造に不可欠な文化財の保護と活用に向けてまいります。

### としまけもんじょ 豊島家文書 (登録有形文化財)

としまけもんじょ

〈所有者〉練馬区

〈所在〉石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館

江戸時代に幕府の旗本であり、元禄12年(一六九九)に氷川神社(石神井台1-18)へ石燈籠(区指定文化財)を奉納した豊島泰盈(やすみつ)の末裔である、豊島家に伝わった文書類25点です。系図1点、過去帳1点、その他の江戸時代の文書類5点、明治期以降の文書類18点からなります。令和4年、豊島家から練馬区へ寄贈されました。

#### 系図

系図は、豊島泰盈が中世文書などを参照して作成したとされるもので、「泰盈本豊島家系図」とよばれています。桓武

練馬区  
地域文化部  
文化・生涯学習課  
伝統文化係  
〒176-8501  
練馬区豊玉北6-12-1  
Tel 03(5984)2442

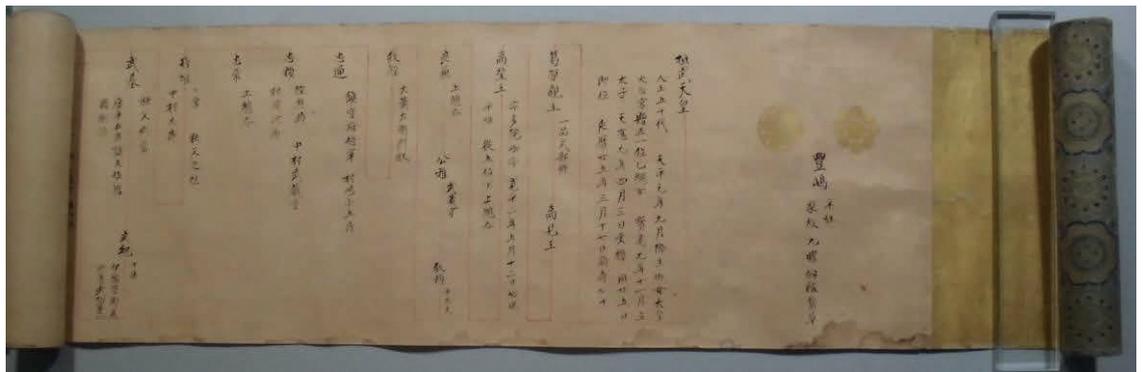
天皇を祖とする豊島家の各代の事績が記されています。室町時代までの部分には実在が確認できない人物も記されていますが、享保5年(一七二〇)頃までの人物が記されています。

石神井城主とされる豊島泰経の記載の部分には、文明9年(一四七七)に江古田原・沼袋(中野区)の合戦で敗れ、石神井城(石神井台1-18 都立石神井公園内)が落城したこと、その後、三宝寺が石神井城跡へ移転したことなどが記されています。

泰盈の部分には、正徳6年(一七一六)に愛宕社(かつて上石神井3-31に所在)へ同社の縁起、三宝寺(石神井台1-15)へ同寺の縁起を奉納したことなどが記されています。

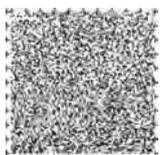
#### 過去帳

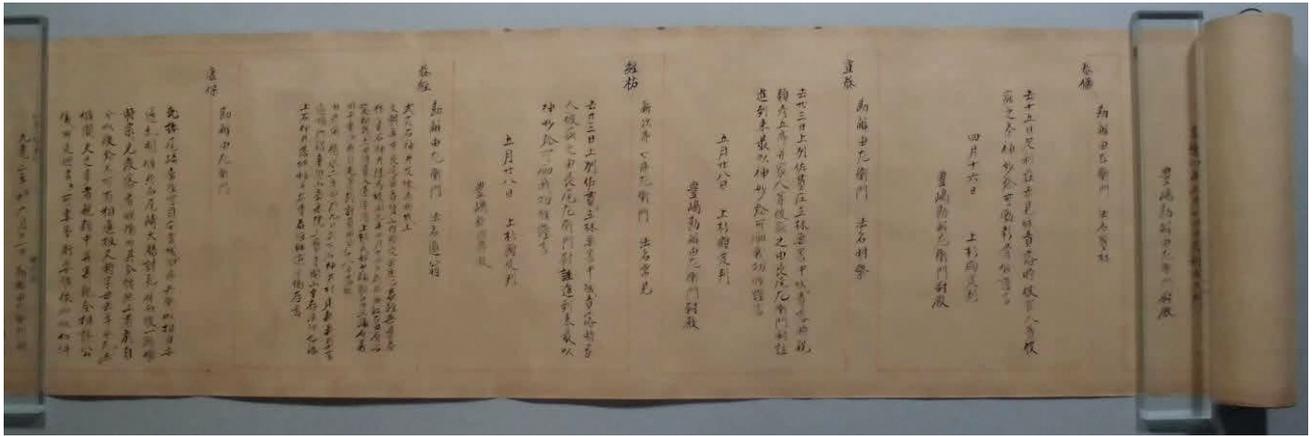
寛永元年(一六二四)没の豊島忠次を始めとする豊島家の当主やその妻などの命日を記したものです。作成年代は不詳ですが、明治23年(一八九〇)に浜松(静岡県)などの各地にあった豊島家の墓を、元々の菩提寺である法明寺(豊島区)に合葬したという書き込みがあります。



泰盈本豊島家系図 冒頭部

【音声コード】  
携帯電話・スマートフォン  
のアプリUni-Voice  
で読み取りが  
できます。





泰盈本豊島家系図 豊島泰経記載部分

その他の江戸時代の文書類

「江戸三番町豊島家屋敷図」は、江戸三番町(千代田区)にあった豊島家の屋敷の図面です。この図に記載がみられる「豊島市太夫」は、文化10年(一八一三)に亡くなった豊島武経のことであり、その時期の屋敷の間取りを記したものと思われまます。

その他、老中・若年寄屋敷の位置を記した絵図があり、そのうち1点は下馬する場所や辻番の位置が記されています。

明治期以降の文書類

明治維新後に浜松で学校教員を勤めた関係の文書類として、教員免許状があります。また、豊島家が元八王子村(八王子市)へ転居した明治31年(一八九八)から、大井村(品川区)に再転居した後の明治36年(一九〇三)までの、豊島家に関わる出来事の要録などが残っています。

豊島家について

文明9年(一四七七)、石神井城は、太田道灌に攻められ、落城しました。城主の豊島勘解由左衛門尉(かげゆざえものじょう)は、石神井城から落ちのびました。系図では、勘解由左衛門尉は豊島泰経とされ、豊島家はその子孫と位置づけられています。ただし、豊島泰盈の祖父で、徳川家康に仕えた豊島忠次とそれ以前の人物とのつながりが、系図には記載されているものも不明な点も多く、必ずしも明らかでは

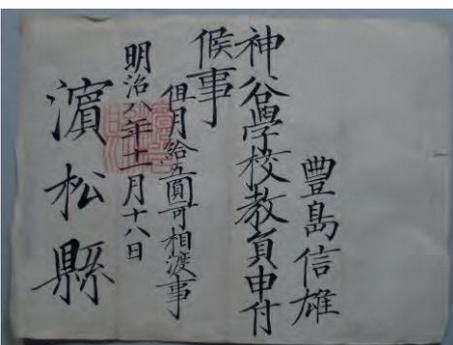
ありません。

江戸幕府の旗本となった忠次は、近江代官(滋賀県付近の代官)や遠江中泉代官(静岡県西部付近の代官)などを歴任しました。近江代官のとき、地域を干ばつの被害から救うため、灌漑用の池を作りました。その池は豊島池(滋賀県長浜市)とよばれ、池畔に忠次の功績を讃えた石碑が建立されています。

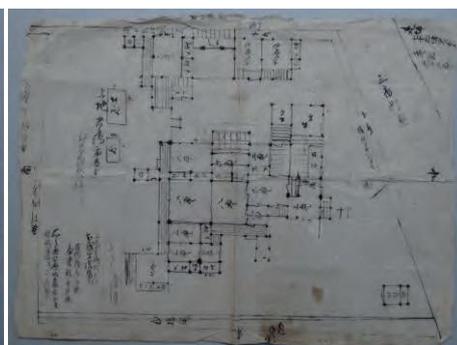
忠次の孫の泰盈とその子の泰音(やすたか)は、前述したように氷川神社に石燈籠を奉納しました。さらに泰盈は愛宕社へ同社の縁起、三宝寺へ同寺の縁起を奉納したとされます。このように豊島家の由緒を求めて、故地を訪ね歩いた泰盈は、自家の足跡を子孫や一族に伝えるため系図を作成したものと考えられます。

なお泰盈は、元禄11年(一六九九)、所領として上総国望陀郡中島村・井尻村(千葉県木更津市)に219石を与えられていました。泰盈の子孫は幕末まで同地を知行し、深い関わりを持ちました。明治元年(一八六八)の戊辰戦争で豊島泰通は戦死しましたが、その父である泰継は明治新政府から逃れるため、中島村名主の小原家を頼り、匿われました。

明治維新时期、徳川家が静岡藩主に封ぜられるに伴い、豊島泰継は浜松勤番となりました。廃藩後、泰継の孫である信雄は当地で学校教員を勤めました。

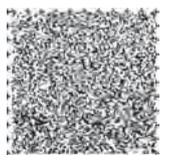


明治8年(1875) 神谷学校教員申達



江戸三番町豊島家屋敷図

豊島家は、明治20年(一八八七)頃に恩方村(八王子市)へ転居し、さらに明治31年(一八九八)に元八王子村、明治34年(一九〇一)に東京府大井村へと転居を重ねました。



ひがしほんむら こうしんとら  
**東本村の庚申塔**  
 (登録有形民俗文化財)

△所有者△練馬区  
 △所在△平和台1-4

貞享2年(二六八五)9月に、下練馬村本村の庚申講10人によって造立された庚申塔です。旧下練馬道と旧田柄川沿いの道が交わる三叉路の角にあります。

本村(錦・氷川台・平和台の一部)は、下練馬村の字ですが、後に東本村と西本村に分かれ、庚申講も両地区にありました。この庚申塔は東本村庚申講が所有していたのですが、講の解散に伴い、令和4年に練馬区に寄贈されました。

大きさは総高143.3cm、横幅48.3cm、奥



行32.5cm、材質は石製(玄武岩)です。形状は板状駒型で、将棋の駒を細長くした形をしています。頂部は左右等辺の山形であり、背面は荒彫で手前に湾曲しています。塔は台座の上に載っています。

正面は邪鬼を踏む青面金剛像(しよめんこんごうぞう)、その下に三猿が浮彫されています。青面金剛像の上部には、中央に青面金剛の種子、左右に日月が陰刻されています。像の向かって左側に造立年月と当所の地名、向かって右側に造立趣旨が陰刻されています。三猿の下部は、中央に造立者10名の氏名、左右に鶏の図が陰刻されています。台座の正面は蓮華が浮彫されています。

区内に残る庚申塔としては古く、区内で多く見られる青面金剛像を浮彫するものとしては2番目に古いものです。

区内で広く行われていた庚申信仰に関する資料です。

**銘文**

【青面金剛像の向かって左側】  
 貞享二天乙丑九月吉日 武州豊島郡下練馬本村

【青面金剛像の向かって右側】

奉新造立庚申之供養結衆二世安樂所

【三猿の下部中央】

- 高橋平四良
- 吉野兵三良
- 内田権十良
- 吉野権太良
- 河嶋傳三良
- 河嶋金四良
- 河嶋長四良
- 清水口(喜カ)十良
- 関口長十良
- 内田九右衛門

**関係資料**

庚申塔の向かって右隣に、宝暦2年(一七五二)に、下練馬村本村の庚申講によって造立された石造物があります。大きさは総高81.7cm、横幅41.8cm、奥行35.5cmです。

正面に「庚申講十人」、向かって右側面に「是より 西たなし道 東いたばし道」、向かって左側面に「宝暦二壬申天八月十有六日」と陰刻されています。庚申信仰に関わる碑であるとともに、田無、板橋へ向かう道の道標としても利用されていました。

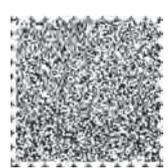
**庚申講と庚申塔**

60日に一度巡ってくる庚申の日の夜には、人が眠ると体内から三尸虫(さんしちゅう)が抜け出て、天帝にその人の罪を報告し、寿命を縮めるという教えがありました。これを防ぐため、その日は一晩中眠らず過ごすという行事が行われるようになりました。

練馬区にも、長享2年(一四八八)の申待板碑(区指定文化財)が残っており、室町時代にすでに地域の人たちが申待(庚申の日の行事)を行っていたことがうかがえます。江戸時代に各所で村人が庚申講を結成し、庚申の日の晩に集まり、飲食をして夜を明かす習俗が広く行われるようになりました。

講員は持ち回りで「宿」を担当し、庚申の日の晩、他の講員を自宅に招き、飲食をふるまいました。宗教的要素が薄れ、近年まで講員の娯楽、親睦の行事になっていました。

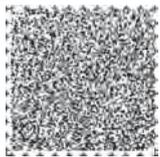
庚申塔とは、庚申の習俗を記念して庚申講によって建立された石塔です。旧道沿いや辻に建立された場合が多く、現在でも区内には130基余りの庚申塔が残っています。そのうちの多くに青面金剛像と三猿が彫られています。





7		6		5		4		3							2							平成元							63									
51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13
井口家文書	三宝寺山門	武蔵関遺跡出土の大型槍先形石器	井口家文書	石製絵馬	相原正太郎家住宅	比丘尼橋遺跡出土の旧石器	井口家文書	増島家薬医門	荘家文書	尾崎遺跡出土品	御府内井村方日記	阿弥陀寺の半鐘	土支田八幡宮の半鐘	紙本墨画淡彩希叟宗罕像	絹本着色明叟宗普像	紙本着色以天宗清像	下練馬の大山道標	宮田橋敷石供養塔	尾張殿鷹場碑	金銅製飾具	縄文時代の竹カゴ	新井家文書	横山家文書	相原家薬医門	尾張殿鷹場碑	*旧震災復興仮設住宅	春日町出土の壺形土器	妙福寺文書	加藤家文書	長命寺仁王門	伊賀衆奉納の水盤・鳥居	町田家文書	氷川神社の狛犬	閻魔・十王像と檀拏幢	角柱型水盤	氷川神社の水盤	榎本家長屋門	氷川神社の旧拝殿
関町南4丁目	石神井台1丁目	石神井公園ふるさと文化館	関町北2丁目	南田中5丁目	春日町5丁目	石神井公園ふるさと文化館	関町北2丁目	谷原3丁目	石神井公園ふるさと文化館	春日町5丁目	平和台1丁目	練馬1丁目	土支田4丁目	桜台6丁目	桜台6丁目	桜台6丁目	北町1丁目	高松2丁目	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	桜台3丁目	高野台1丁目	田柄5丁目	大泉町3丁目	※平成11年度移転により登録解除	石神井公園ふるさと文化館	南大泉5丁目	土支田4丁目	高野台3丁目	大泉町5丁目	東大泉7丁目	氷川台4丁目	大泉町6丁目	氷川台4丁目	石神井台1丁目	南田中4丁目	豊玉南2丁目
個人	三宝寺	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	尾崎遺跡資料展示室	個人	阿弥陀寺	土支田八幡宮	廣徳寺	廣徳寺	廣徳寺	(管理者) 練馬区	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	大泉第一小学校	個人	妙福寺	個人	長命寺	氷川神社	個人	氷川神社	教学院	氷川神社	氷川神社	個人	氷川神社	個人

16		15		14		13		12		11		10		9		8		7										
80	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52
千川上水の記録フィルム	丸山東遺跡方形周溝墓出土品	小竹遺跡出土の大珠	栗原家文書	木下家文書	石神井西尋常小学校のリードオルガン	小林家住宅	相原好吉家文書	広川松五郎関係資料	子ノ聖観世音碑	石神井城跡出土小刀	中野屋商店文書	八ヶ谷戸遺跡出土の大形把手付縄文土器	橋紋椿几帳柄鏡	絹本着色釈迦十六善神像	長谷川家文書	北町の仁王像	八幡神社の本殿	千川家文書	明叟宗普の墨跡	本寿院の賽銭箱	氷川神社の神輿	*2中宮遺跡5号住居址の盛土状遺構出土品	丸山東遺跡出土の木製品	金乗院御朱印状	阿弥陀寺の伏せ鉦	西大泉の稲荷神社本殿	高稲荷遺跡出土の旧石器	小美濃英家文書
石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	桜台5丁目	田柄5丁目	練馬4丁目	貫井5丁目	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井町5丁目	桜台6丁目	春日町3丁目	北町2丁目	中村南3丁目	石神井公園ふるさと文化館	桜台6丁目	早宮2丁目	豊玉南2丁目	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	錦2丁目	練馬1丁目	西大泉5丁目	石神井公園ふるさと文化館	大泉学園町2丁目
個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	個人	円光院	個人	個人	個人	廣徳寺	個人	個人	北町観音堂	八幡神社	廣徳寺	本寿院	氷川神社	個人	個人	金乗院	阿弥陀寺	稲荷神社	個人	個人	



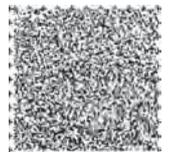
29	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17		
118 117	116 115 114	113	112 111 110 109	108 107 106 105 104	103 102	101 100	99	98 97	96 95 94	93 92 91 90	89 88	87	86 85 84 83 82 81
千川堤植櫻楓碑	五十嵐家文書 阿弥陀堂の半鐘 武蔵大学3号館	武蔵学園大講堂 加藤家文書	草摺引図絵馬 森田家資料 丸山東遺跡出土の片口土器 アニメーション撮影台	石神井火車站之碑 妙福寺の駕籠 明叟宗普書状 明叟宗普道号頌	正親町天皇編旨 北新井遺跡出土の土偶	貫井の東高野山道標 天祖神社東遺跡出土の石核	武内家資料 丸山東遺跡出土の石棒	*4小野蘭山墓および墓誌 篠家文書	大泉井頭遺跡出土の有孔鍔付土器 愛染院文書 下練馬の三十三所観音菩薩像	光伝寺の地藏菩薩立像 および閻魔十王像 水川台3-24 水川台3-24 春日町4-17	関東大震災犠牲者慰霊碑 *3田中家資料 住居址出土土器	中村南遺跡第2地点5号 中村南1-2	織部燈籠 愛染院の梵鐘 関口家文書 内国勸業博覧会褒状 東早淵遺跡出土の局部磨製石斧 千川上水調査アルバム
小竹町1-59 浅間神社	石神井公園ふるさと文化館 北町2-18 阿弥陀堂	豊玉上1-26 根津育英会武蔵学園 豊玉上1-26 根津育英会武蔵学園	氷川台4-47 氷川神社 石神井公園ふるさと文化館 石神井公園ふるさと文化館 石神井公園ふるさと文化館	桜台6-20 廣徳寺 桜台6-20 廣徳寺 南大泉5-6 妙福寺 石神井町3-23	桜台6-20 廣徳寺 桜台6-20 廣徳寺 貫井5-17 個人 石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館 石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館 石神井公園ふるさと文化館	練馬4-27 個人 迎接院	水川台3-24 光傳寺 水川台3-24 光傳寺 春日町4-17 愛染院	水川台3-24 光傳寺 中村南3-2 八幡神社 水川台3-24 光傳寺	錦1-19 円明院 北町5丁目 個人 中村南スポーツ交流センター	中村南1-2 根津育英会武蔵学園	高松3丁目 春日町4-17 土支田3丁目 個人 石神井公園ふるさと文化館 石神井公園ふるさと文化館 豊玉上1-26 根津育英会武蔵学園

平成元	63	62	昭和61年度	No.			
8	7	6	5	4	3	2	1
下練馬の富士塚	狐のかんかん地蔵	関のかんかん地蔵	大八車	弥陀三尊来迎画像板碑	北町聖観音座像	中里の富士塚	江古田の富士塚
北町2-41 浅間神社	西大泉3-13 諏訪神社	関町東1-18地先(管理者) 三宝寺	石神井公園ふるさと文化館	石神井台1-15 三宝寺	北町2-38 北町観音堂	大泉町1-44 富士浅間神社	小竹町1-59 浅間神社
				(管理者) 北町二丁目会		(所有者) 中里富士講	
				所在地		所在地	
				所有者等		所有者等	

6	5	4	元	No.
5	4	3	2	1
*ホウキ製造技術	*ホウキ製造技術	絵馬制作	*棒柄の製作技術	*鼈甲螺鈿蒔絵
※篠田歳治・平成23年死亡により登録解除	※鹿島佐平・平成10年死亡により登録解除	貫井5-14 平田郡司	※井口平蔵・平成7年死亡により登録解除	※土方吉雄・平成6年死亡により登録解除
				所在地
				所有者等

4	3	2	元	30			
126	125	124	123	122	121	120	119
豊島家文書	妙福寺の半鐘	妙福寺の半鐘	光傳寺の半鐘	鴨下家文書	旧見留家納屋	山口家資料	金乗院山門
石神井公園ふるさと文化館	南大泉5-6 妙福寺	南大泉5-6 妙福寺	水川台3-24 光傳寺	石神井公園ふるさと文化館	土支田3-34 土支田農業公園	石神井公園ふるさと文化館	錦2-4 金乗院
						所在地	
						所有者等	

\*1 平成7年度有形民俗文化財No.19(種別変更のため欠番)  
 \*2 平成20年度高坏形土器を追加し名称変更  
 \*3 平成28年度名称変更  
 \*4 墓誌は平成23年11月から石神井公園ふるさと文化館で保管



4	27	25	24	23	21	20	18	16	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2																			
47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	
東本村の庚申塔	永享八年の夜念仏板碑	高松の御嶽講関係資料	文亀元年の月待板碑	文明十七年の月待板碑	本覚寺の版木	出羽三山・百八十八ヶ所観音供養塔	上石神井立野の庚申塔	三原台の馬頭観音	谷原の庚申塔	福徳元年の月待板碑	御嶽講奉納の水盤	八幡神社の石造大山不動明王像	高松の板碑型庚申塔	林稲荷神社の庚申塔	大氷川の力石	二十三夜待供養塔	谷原延命地藏	神興渡御行列図絵馬	江古田の富士講関係資料	丸彫聖観音立像廻国供養塔	斎藤水車用具	醬油醸造業用具	井戸替え用具	棒屋資料	富士講巡拝装束	織部燈籠	石幢六面六地藏	長享二年の申待板碑	力持ち惣兵衛の馬頭観音	本寿院のみくじ道具	丸彫青面金剛庚申塔	金乗院の一石六地藏	僧形馬頭観音	高松の庚申塔	氷川神社の力石	文応元年の弥陀板碑	沢庵漬製造用具	氷川神社富士塚	
平和台1-4	石神井台1-15	高松6-34	錦1-19	錦1-19	旭町1-26	上石神井1-11	上石神井1-11	三原台2-6	富士見台4-36	南大泉5-6	富士見台3-42	高松1-16	高松1-22	豊玉北1-7	氷川台4-47	下石神井6-1	谷原1-17	氷川台4-47	小竹町1-59	旭町2-28	南田中1丁目	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井公園ふるさと文化館	石神井町5-19	石神井町5-19	石神井公園ふるさと文化館	大泉学園町7-2	早宮2-26	下石神井5-7	錦2-4	早宮2-26	高松2-3	豊玉南2-15	石神井台1-16	石神井公園ふるさと文化館	北町8-22	氷川神社
	三宝寺	練馬御嶽一山開闢講社	円明院	円明院	本覚寺			個人	個人	妙福寺	稲荷神社	八幡神社	個人	林稲荷神社	氷川神社	天祖神社	氷川神社	氷川神社	浅間神社	個人	個人	文化館	文化館	文化館	文化館	禅定院	禅定院	文化館	個人	本寿院	伊保ヶ谷戸庚申講	金乗院	本寿院	(管理者)練馬区	氷川神社	道場寺	氷川神社	氷川神社	

22	16	15	14	5	4	3	2	平成元年度	63																				
28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	No.	
ちがや馬飾り	ちがや馬飾り	上石神井囃子	北町囃子	白山神社囃子	谷原囃子	富士見台囃子	春日町囃子	貫井囃子	大山講灯籠立て行事	南田中囃子	石神井台囃子	田柄囃子	中里囃子	*ちがや馬飾り	*ちがや馬飾り	*ちがや馬飾り	神輿渡御の御供道中歌	鶴の舞	関町囃子	*谷原の麦ボウチ唄	*谷原の餅搗き唄	*ちがや馬飾り	中村囃子	石神井囃子	八丁堀三吉囃子	関のぼろ市	探湯の儀	名	
錦1丁目	北町3丁目	上石神井囃子連(北町地域)	北町囃子保存会(北町地域)	白山神社囃子連(練馬地域)	谷原囃子保存会(谷原・高野台地域)	富士見台囃子保存会(富士見台地域)	春日町囃子連(春日町地域)	貫井囃子保存会(貫井・高松地域)	向三谷大山講(下石神井1・2丁目地域)	南田中囃子保存会(南田中地域)	石神井台囃子連(石神井台地域)	田柄囃子保存会(田柄地域)	中里囃子連(大泉町地域)	※山口勝男・平成21年死亡により登録解除	※加藤義雄・平成30年死亡により登録解除	※内田和助・平成24年死亡により登録解除	氷川台4-47氷川神社	氷川台4-47氷川神社	氷川台4-47氷川神社	関町囃子保存会(関町地域)	※増島兼吉・平成22年死亡により登録解除	※増島兼吉・平成22年死亡により登録解除	中村囃子連(中村地域)	石神井町囃子連(石神井町地域)	八丁堀三吉囃子保存会(旭町地域)	関町北4-16本立寺門前	中村3-8	所在地	
伊藤弥五郎	丹羽幸男																氷川神社宮宿鶴の舞保存会	氷川神社宮宿鶴の舞保存会	氷川神社宮宿鶴の舞保存会										所有者等

(無形民俗文化財)

